

用務の経過

柏市の電子母子手帳について視察した。

従来の母子手帳にスマホアプリの電子母子手帳を導入したものだ。

メリットとしては、偽名でもネット名でもとにかく登録すれば成長に応じて、健診やワクチン接種の通知が来る郵便番号で地域を登録しておけば地域限定の子育て講座とかの情報を通知してもらえる。

親とデータをシェアしておけば、例えば健診のときのエコー画像を遠く離れた親がリアルタイムで見ることができる。

アプリの開発費は、一般的な母子手帳アプリの使用と広告料でほとんどかからないそうである。

ただ残念なことは、ちょっとしたアイデアや困ったときの対処法などは、公共のアプリなので相談窓口に電話という書き方になる。

本当は、つわりがひどいときや夜泣きなどちょっとしたアドバイスや昔からの知恵などが役に立つことが多いが、これを書くことができない。

責任を問われない形で掲載できないかと考える。

予算はさほどではないが、職員の手間は増えるそうである。